

自立前進予算～自らの確かな足どりで未来に向けて発展～

平成29年度当初予算
一般会計予算

1,128億8,868万円

問い合わせ 財政課 ☎229-3124 FAX 229-3388

平成29年度は、産業・スポーツセンターが10月にオープンし、4大プロジェクトが総仕上げの時を迎え、合併時に10市町村が思い描いていたまちづくりの大きな節目となります。また、合併後11年が経過し、普通交付税の合併特例措置が段階的に縮減されるなど、財政構造の転換期でもあります。これからは、今まで築き上げてきた健全な財政基盤を礎に、合併特例事業債の残りの発行期間を見据え有効に活用しながら、津市の将来のためにやるべきことを自ら決定し、市民の暮らしをより良くする取り組みを着実に進めます。

平成29年度の当初予算は、小学校の普通教室のエアコン設置や認定こども園の整備、高齢者の

外出支援、津市ビジネスサポートセンターの開設など、子どもたちの明るい未来が展望でき、市民の幸せな暮らしが広がり、力強い経済が市民の暮らしを支え続けるまちづくりを目指すための予算を編成しました。

一般会計予算は、前年度と比べて0.6%減の1,128億8,900万円となり、特別会計などを含めた総額は、前年度と比べて9.4%減の2,414億7,500万円となりました。

※文中や図表中の金額表記は100万円未満を四捨五入などしています。また、▲はマイナスを表しています。

会計別予算額

会計名	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
一般会計	1,128億8,900万円	1,135億9,600万円	▲7億 700万円	▲0.6%
モーターボート競走事業	—	521億2,700万円	▲521億2,700万円	皆減
国民健康保険事業	330億3,900万円	337億1,000万円	▲6億7,100万円	▲2.0%
介護保険事業	276億6,100万円	270億1,800万円	6億4,300万円	2.4%
後期高齢者医療事業	61億4,400万円	60億 600万円	1億3,800万円	2.3%
市営浄化槽事業	4億7,800万円	6億6,400万円	▲1億8,600万円	▲28.1%
共同汚水処理施設事業	4,700万円	—	4,700万円	皆増
簡易水道事業	—	12億6,300万円	▲12億6,300万円	皆減
農業集落排水事業	5億5,300万円	5億5,200万円	100万円	0.2%
土地区画整理事業	9億6,600万円	12億8,400万円	▲3億1,800万円	▲24.8%
住宅新築資金等貸付事業	4,700万円	5,300万円	▲600万円	▲10.8%
棕本財産区	100万円	100万円	—	▲10.3%
小計	689億3,600万円	1,226億7,800万円	▲537億4,200万円	▲43.8%
企業会計				
水道事業(支出)	126億3,400万円	119億4,400万円	6億9,000万円	5.8%
工業用水道事業(支出)	2,200万円	2,400万円	▲200万円	▲4.4%
下水道事業(支出)	169億8,600万円	175億8,200万円	▲5億9,600万円	▲3.4%
駐車場事業(支出)	4億8,900万円	2億9,400万円	1億9,500万円	66.3%
農業共済事業(支出)	4億8,300万円	3億2,300万円	1億6,000万円	49.5%
モーターボート競走事業(支出)	290億3,600万円	—	290億3,600万円	皆増
小計	596億5,000万円	301億6,700万円	294億8,300万円	97.7%
合計	2,414億7,500万円	2,664億4,100万円	▲249億6,600万円	▲9.4%

※平成29年度から、モーターボート競走事業特別会計は企業会計へ移行し、共同汚水処理施設事業特別会計を設置し、簡易水道事業特別会計を水道事業会計へ統合しています。

人件費、公債費、市債残高の状況

人件費は、前年度比1.1%減の200億2,500万円、公債費は、前年度比2.7%増の98億8,800万円を見込んでいます。

市債(臨時財政対策債を除く)の発行は、4億4,800万円の増となり、平成29年度末市債借入残高の見込み(臨時財政対策債を除く)は577億6,600万円と昨年度末残高見込み(539億6,000万円)と比べ38億600万円の増となりました。

臨時財政対策債とは、地方の財源不足を補てんするために、本来、国から地方交付税として交付されるべき額の一部を振り替えて発行する特別な地方債のことです。各地方公共団体が借り入れ、後年度の償還金は全額地方交付税に算入されます。

市債の借入残高(一般会計)の推移

